

文化学園長野中学校3年1組

長野魅力発信プロジェクト

文化学園長野中学校3年1組の生徒たちは、地元・長野県の魅力を再発見し、国内外へ発信することを目的とした「長野魅力発信プロジェクト」に取り組みました。観光・歴史・スポーツ・食文化など、多角的な視点から地域資源を調査し、クイズ形式でわかりやすく発表する工夫も施しました。

自然と観光の魅力

長野県は森林率が約80%という自然豊かな県であり、国内外の観光客を惹きつける美しい景観を有しています。特に白馬村はウィンタースポーツの聖地として知られ、パウダースノーの質の高さやアクセスの良さが人気の理由とされています。一方で、オーバーツーリズムの問題も顕在化しており、観光と環境保全の両立の必要性も学びました。

歴史と文化の多様性

長野の歴史として、約1400年の歴史を持つ善光寺や、地獄谷野猿公苑における温泉に入るサル(スノーモンキー)の紹介を通して、地域の文化的価値や国際的関心の高さにも言及しました。善光寺が古くからジェンダー平等を象徴する存在であることなど、SDGsとのつながりにも触れています。

スポーツと食の魅力

1998年の長野オリンピックを契機としたウィンタースポーツの盛り上がりや、温泉文化との親和性、スキー観光の魅力も紹介。また、おやき、野沢菜、信州そばといった長野の郷土料理にも注目し、地域の食文化をPRしました。

未来への展望

学びの集大成として、「長野を世界に発信する」ことを目指した本プロジェクトは、地域理解と伝達力を同時に育む実践的な取り組みとなりました。児童たちは、自分たちの住む地域に誇りを持ち、観光や環境に関する課題解決にも主体的に関わっていく意欲を高めています。